

今だからこそ予防できる“がん”があります



どのくらいの方が子宮頸がんになるの？

- 日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、毎年、約2,900人の女性が子宮頸がんで亡くなっています。
- 患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。

出典:国立がん研究センター がん情報サービス
2019年全国推計値に基づく累積罹患リスク、2021年累積死亡リスク、2021年人口動態統計がん死亡データより

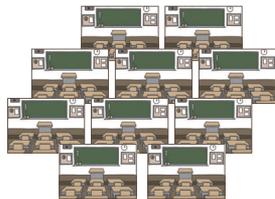
【一生のうち子宮頸がんになる人】 【子宮頸がんで亡くなる人】

1万人あたり132人

2クラスに1人くらい

1万人あたり34人

10クラスに1人くらい



(1クラス約35人の“女子クラス”として換算)

子宮頸がんで苦しまないためにできることは？

ポイント

① HPVワクチンでHPVの感染を予防



ポイント

② 子宮頸がん検診でがんを早く見つけて治療

ワクチンを接種していても、していなくても、20歳になったら定期的に、必ず子宮頸がん検診を受けてください。

公費でHPVワクチンを接種できる対象者は？

■ 小学校6年～高校1年相当の女性



■ 高校2年相当～1997年度生まれの女性

誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日の女性で、まだHPVワクチンの接種を受けていない方も、2025年3月末まで、公費で接種できます。

厚生労働省
(HPVワクチン)
のHP



HPVワクチンの
よくあるご質問
(Q&A)



NEW
はじめての
HPVワクチン
～ゼロからわかる
ポータルサイト～



東京都



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

リサイクル適性 (A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。